

ZEPEAL

ゼピール フルリモコンリビング扇風機 DF-A345

[1.2.4.6時間切タイマー] [リモコン付] [羽根サイズ30cm]

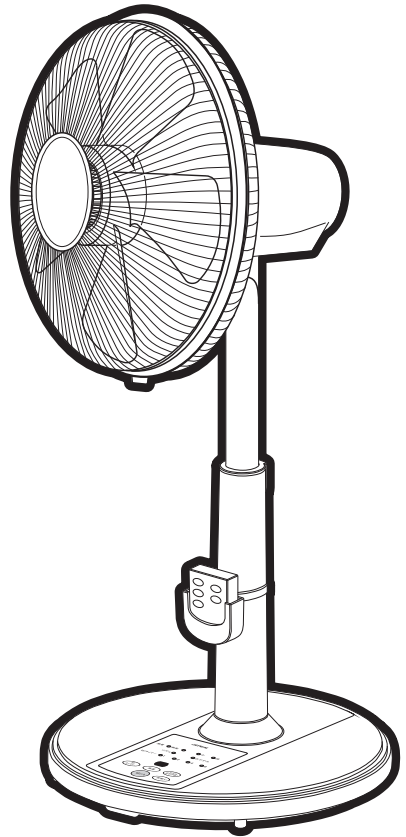
取扱説明書(保証書付)

このたびはリビング扇風機をお買い上げいただき、誠に有難う御座いました。

ご使用前に、この取扱説明書(保証書付)をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

万一ご使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きつとお役に立ちます。



●イラストと実際の商品は多少異なる場合があります。

も く じ

安全上のご注意	1～2
各部の名称	3
使いかた	3
組み立てかた	4～6
操作のしかた	7～8
リモコン	8～9
特に注意していただきたいこと	9
お手入れと保管	9～11
アフターサービスについて	11
仕様	11
長年ご使用の扇風機はよく点検を	12
長期使用製品安全表示に基づく本体表示について	12
保証書	13

●この扇風機は、一般家庭用です。他の用途でのご使用はしないでください。思わぬ事故の原因となります。

●この製品は、海外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY

安全上のご注意

※ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近辺に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告



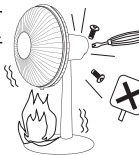
羽根・ガードをつけずに高さ調節ボタンを押したり、モーターを運転させないでください。ケガする恐れがあります。



水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート感電の恐れがあります。



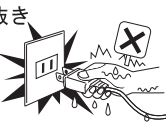
修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。発火したり、異常動作してケガをすることがあります。



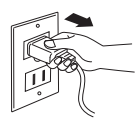
包装用ポリ袋をお子様の手の届かない場所に保管してください。誤って顔にかぶったり、巻き付いたりして窒息し、死亡の原因となります。



濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の恐れがあります。
濡れ手禁止



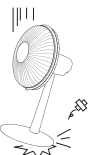
お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



使用中(羽根の回転中)にガードを持って、上下左右に風向きを変えないでください。ガードを持って、強く操作すると、羽根がガードに当たる場合があり、羽根が破損し、ケガをする原因になります。



転倒による羽根破損に注意！
本体の転倒や落下により羽根が破損する恐れがあります。使用中には十分に気をつけてください。



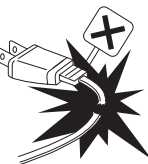
⚠ 注意



交流100V以外では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。感電・ショート・発火の原因となります。



本品は、一般家庭用です。次のような所では、使用しないでください。
感電、火災、破損、故障の原因になります。

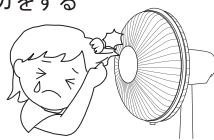
- 温室やビニールハウスなど湿度の高い所、雨や水しぶきがかかる所。
- 工場内などの油のつきやすい所。
- 有機溶剤を使用している所。
- 砂ほこり、綿ほこり、金属粉の多い所。
- 室内や40℃以上の高温になる所。
- ガスレンジなど炎の近くや、引火性のガスのある所。



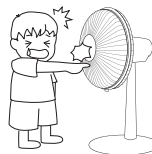
風を長時間、身体にあてないでください。健康を害することがあります。



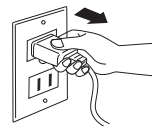
髪をガードに近づけすぎない。
髪が巻き込まれてケガをする恐れがあります。



ガードの中や可動部へ指などを入れしないでください。
ケガをする恐れがあります。



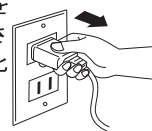
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜いてください。
感電やショート、発火することがあります。



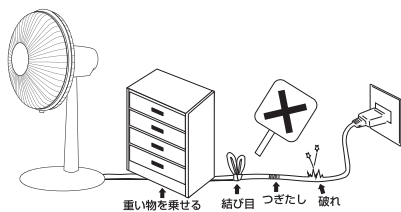
畳、床面などでベースを引きずらない。畳、床面を傷つける恐れがあります。



使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
ケガややけど、絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



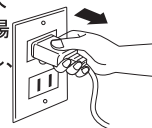
電源コードを傷付けたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重いものを乗せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し火災・感電の原因になります。



※電源コードを束ねてある結束バンドは必ずはずしてお使いください。



本体に異常(大きな騒音や大きな振動など)が発生した場合は、直ちにご使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いてください。



電源プラグのほこりは定期的に取り替えてください。
電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

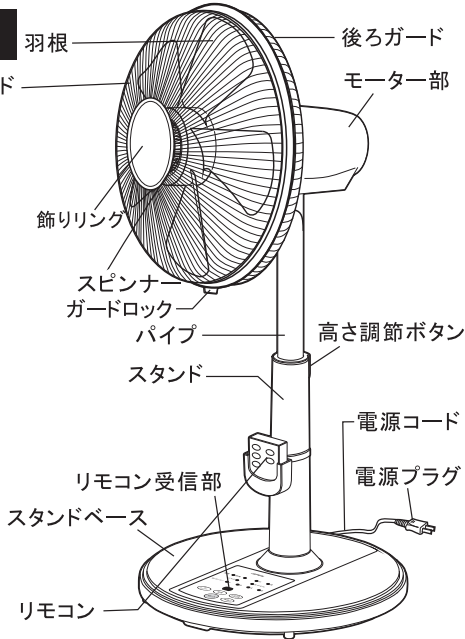


各部の名称

お願い

カーテンなどの障害物の周囲や不安定な場所をさけてご使用ください。

本体



付属品



リモコン



リモコンホルダ



電池

乾電池は工場出荷時に同梱していますので自己放電のため、寿命が1年以下の場合があります。

首振り角度

(自動運転時)

左右 約75度

●イラストと実際の商品は多少異なる場合があります。

使いかた

警告

使用中（羽根の回転中）に、ガードを持って、上下・左右に風向きを変えない。ガードを持って、強く操作すると、羽根がガードにあたる場合があり、羽根が破損し、ケガをする原因になります。

高さ調節のやり方

図のように片手でパイプを持ち、もう片方の手で高さ調節ボタンを押しながら、パイプの高さを調節してください。
※高さを押し上げる場合は押し上げている間はロックがされません。



風向調節のやり方（運転停止で行ってください）

スタンド部を軽く押さえて、モーター部を上下・左右に動かしてください。

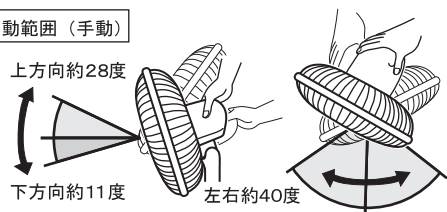
●カチカチと音が出る範囲まで調節できます。

可動範囲（手動）

上方向約28度

下方向約11度

左右約40度



組み立てかた

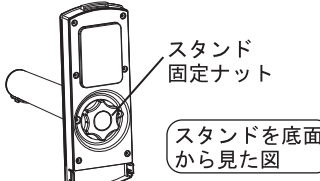
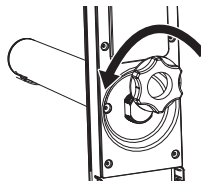
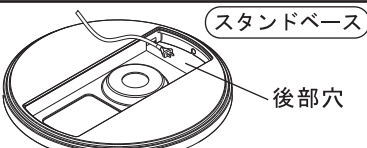
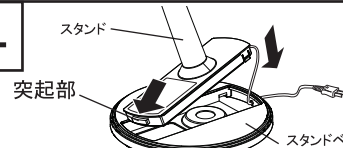

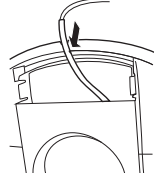
お願い

- 包装部品は扇風機を保管するとき、必要となりますので、捨てないでください。
- 羽根に貼り付けてある「羽根マーク」は、はがさないでください。
- ガード止めナットとスピナーはネジ山に注意し、かたむきのないようしっかり締め付けてください。
- 羽根をつけずにモーターを運転させないでください。温度過昇防止装置が働き、使用できなくなることがあります。

1 スタンドベースとスタンドを組み立てる

(注意) スタンド固定ナットはスタンド(本体)底面=裏側に取り付けられています。スタンド固定ナットをはずさないとスタンドベースは取り付けられません。

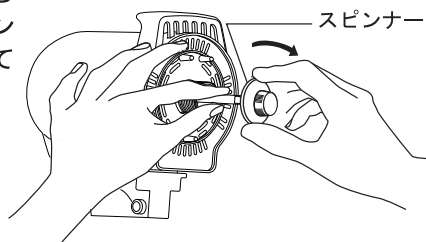
- スタンドは単体では立ちません。組み立て前は必ず横向きで置いてください。
- スタンドとスタンドベースを組み立ててから、後ろガード、羽根、前ガードを取り付けてください。

<p>1</p>  <p>スタンド「固定ナット」をスタンド(本体)から取り外します。</p>	<p>2</p>  <p>スタンド「固定ナット」を矢印の方向に回して、本体から取り外してください。</p>
<p>3</p>  <p>平らな安定した場所にスタンドベースを置き、電源コードをスタンドベースの「後部穴」へ通してください。</p>	<p>4</p>  <p>スタンドベースにスタンドの「突起部」を差込み、スタンドを上から押しながら、スタンドベースに取り付けます。</p>
<p>5</p>  <p>②で取り外した固定ナットを矢印の方向(時計まわり)に締め付けてください。</p>	<p>6</p>  <p>電源コードをスタンドベースのコードガイドにはめ込んでください。</p>

※スタンドをスタンドベースに差し込むとき、高さ調節ボタンを押さないように注意してください。

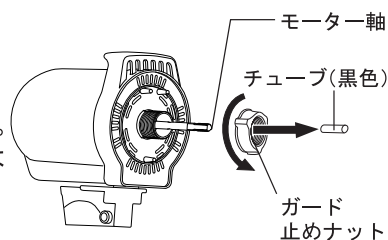
2 スピンナーをはずす

- 片方の手で回り止めピンを押さえて回らないようにして、もう片方の手でスピナーを時計回り（矢印の方向）へ回して外してください。



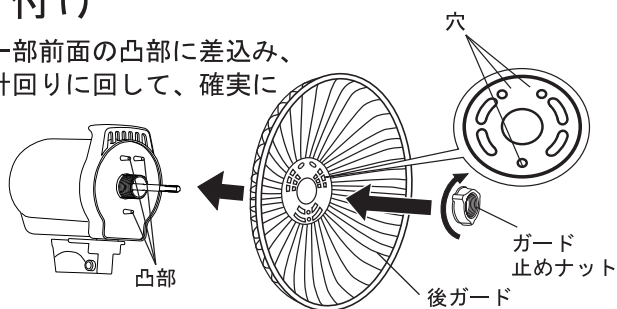
3 チューブ(黒色)をはずし、ガード止めナットをはずす

- 黒色のチューブ(モーター軸のさび防止用)を外して(前方に引き抜いて)ください。
- ガード止めナットを回して外してください。ガード止めナット、スピナー、チューブは保管の際本体に装着してください。



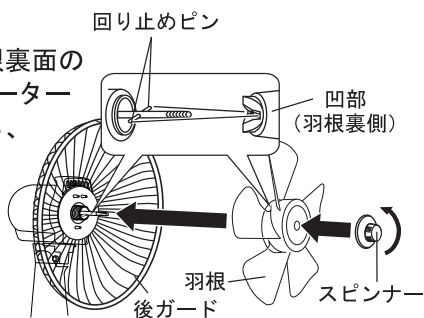
4 後ガードの取り付け

- 後ガードの穴をモーター部前面の凸部に差込み、ガード止めナットを時計回りに回して、確実に締め付けてください。



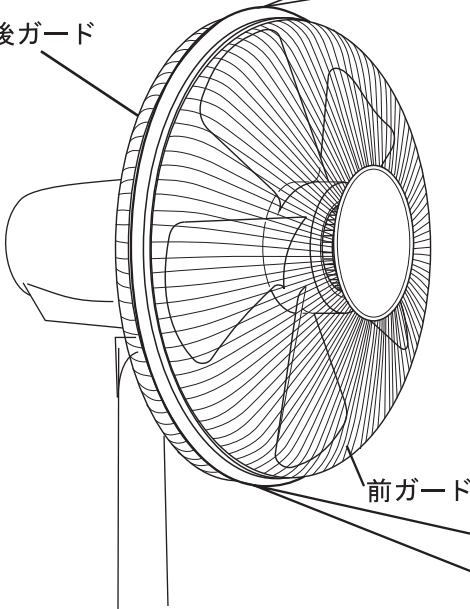
5 羽根の取り付け

- モーター軸の「回り止めピン」と羽根裏面の「凹部」の向きを合わせて、羽根をモーター軸の奥まで差込み羽根を押さえながら、スピナーを反時計回りへ回して、確実に締め付けてください。

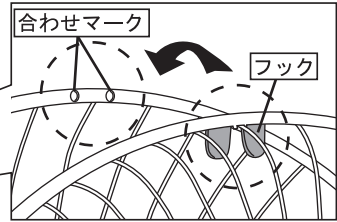


6 前ガードの取り付け

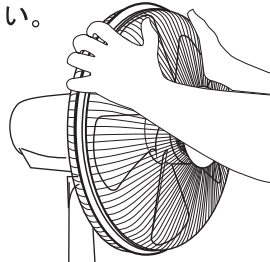
後ガード



- 1** 前ガードの「フック」を後ガードの「合わせマーク」に合わせてはめ込みます。

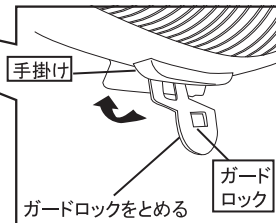


- 2** 前ガードを後ガードにかぶせるように上から順に前ガードを押さえながら、前ガードの全周を確実にはめ込んでください。

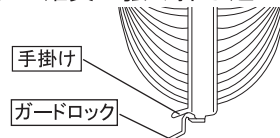


! この時、あまり力を入れすぎるとガードが変形する恐れがありますので、力を入れすぎないようにご注意ください。

- 3** ガードロックを強く押し込んで固定します。



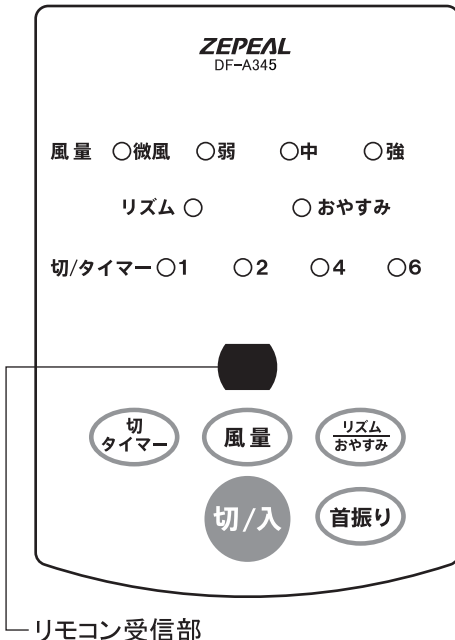
- 4** ガードロックが下図の位置になるように固定してください。「パチン」と音がするまで確実に強く押し込んでください。



操作のしかた

操作パネル

- 運転する時は、最初に「切 / 入」ボタンを押してください。他のボタンを押しても作動しません。
- 運転中に停電したり、電源プラグを抜いた場合は、「切」の状態になりますので、初めから操作をやり直してください。(運転開始直後の3秒間は、中で運転し、その後自動的に弱風になります。)
- 操作パネルの一部とスタンドの一部が暖かくなりますが、マイコンなどの消費電力によるもので故障ではありません。そのまま続けてご使用ください。

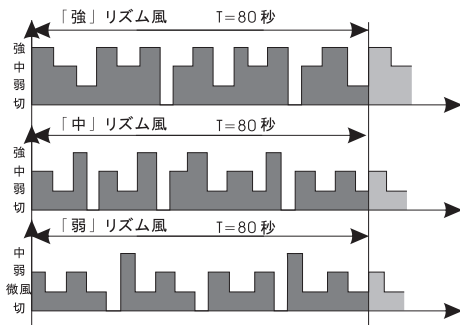


	<p>「切 / 入」ボタン 「切 / 入」ボタンを押すと運転します。もう一度押すと停止します。</p>
	<p>風量調節のしかた 「風量」ボタンを押すと風量が順送りで変わります。表示ランプを見ながら操作してください。</p> <p>→ 微風 → 弱 → 中 → 強</p>
	<p>切タイマーセットのしかた 「切タイマー」ボタンを押すとタイマー時間が順送りで変わります。表示ランプを見ながら操作してください。</p> <p>→ 1時間 → 2時間 → 4時間 → 6時間 — タイマーセット解除 (連続運転) ←</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 時間の経過とともに表示ランプが変わり、残りの時間を表示します。 ● セット時間が終わりますと、表示ランプが消え自動的に運転が停止します。
	<p>「リズム / おやすみ」ボタン 「リズム / おやすみ」ボタンを押すたびに下記の図のように設定が切り替わります。</p> <p>(「リズム/おやすみ」表示ランプ)</p> <p>(消灯) → ● → ☀ → ☀ 通常運転 リズム おやすみ</p>

使用时以外は

安全と節電のため電源プラグをコンセントから抜いてください。運転をしていなくても、電源プラグを差込まれたままですと、わずかな電力(約1W)を消費します。

■「リズム」風量パターン



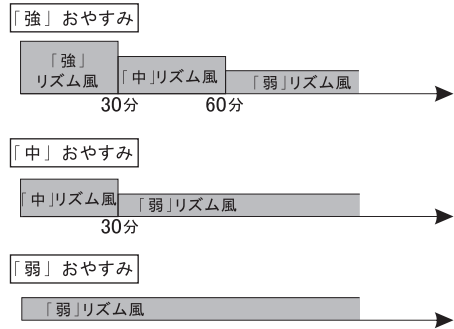
「リズム」

- 微風・弱・中・強の各風量設定ごとに、風量がリズムカルに切り替わります。(上左図参照)
- ※微風で設定の場合は、弱と同じ風量パターンで運転します。
- ※運転時は、羽根が止まる場合があります。

メモリー機能について

- 運転停止後、「切/入」ボタンを押すと、停止する前の運転状態で運転します。(おやすみ風量・タイマー時間はメモリーされません)
- 電源プラグを抜くと、メモリーは解除されます。

■「おやすみ」風量パターン



「おやすみ」

- 設定された風量から、30分ごとに自動的に風量を下げます。(上右図参照)
- ※微風で設定の場合は、弱と同じ風量パターンで運転します。
- ※自動的に運転を停止する設定ではありません。タイマーを併用してのご使用をおすすめします。

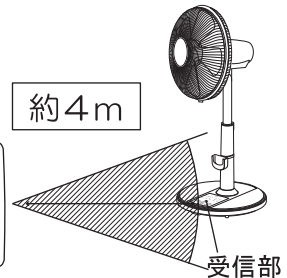
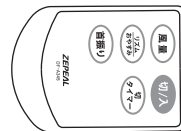
快眠を誘うように徐々にやさしい風量に変化します
(弱リズム風の場合は、弱リズム風で運転を続けます)。

リモコン

1 操作のしかた

リモコンの送信部を本体の受信部に向けて、「切/入」ボタンをゆっくり押してください。

- ボタンの機能は本体側と同じです。
- リモコンの使用できる範囲は4mです。




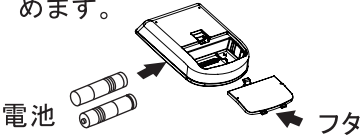
お願い

- リモコンの送信部に傷を付けないでください。
- リモコンのボタンを2個同時に押さないでください。
- リモコンを落としたり、踏んだり、液状のものをかけたりしないでください。

※次のところではリモコンの操作ができないことがあります。

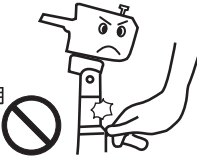

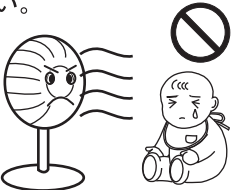
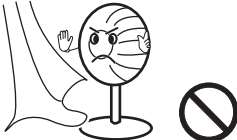
- 本体受信部とリモコンの間に障害物があるところ。
- インバーター照明器具または、電子瞬時点灯照明器具を使用しているところ。
- 本体の受信部に直射日光等の強い光が当たるところ。

2 電池の入れ替え（単4電池2本使用）




<p>1 リモコンの裏側の下部にあるフタを矢印の方向に引き出します。</p> 	<p>2 「+・-」の表示に合わせて電池を入れ、本体に元通りフタを閉めます。</p> 
---	--

- 動作しにくくなった場合は新しい電池と交換してください。
- 長時間使わない時は電池を取り出してください。（液漏れによる故障を防ぎます）
- もし液漏れが起こった場合は、液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- 「+・-」を正しく入れてください。
- 同梱さてれている試用電池は、使用期限が1年以下の場合があります。

特に注意していただきたいこと


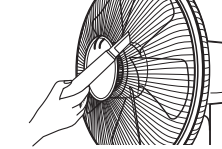
<p>羽根、ガードをつけずに高さ調節ボタンを押ししたりモーターを運転させないでください。</p> <p>モーター部が急にはね上がり、ケガをする恐れがあります。温度過昇防止装置が働き、使用できなくなる場合があります。</p> 	<p>運転中は絶対にガードの中へ手や、物を入れないでください。特に羽根の裏側は危険です。</p> <p>ケガをしたり、破損したりします。特に小さいお子様には注意してください。</p> 
<p>乳幼児、お年寄り、病気の方には長時間直接風を当てないでください。</p> <p>健康によくありません。お休み前にはタイマーを使用し、壁などに風を向けて反射風を利用しましょう。</p> 	<p>カーテンなどを吸い込んだり、首がさまたげられたりしない安定した場所でご使用ください。</p> <p>転倒したり、モーター不良の原因になります。</p> 

お手入れと保管

 警告	
	<p>羽根・ガードをつけずに高さ調節ボタンを押ししたり、モーターを運転させないでください。ケガをする恐れがあります。</p>
	<p>お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、濡れた手で抜き差ししないでください。感電やケガをすることがあります。</p>

お手入れ

羽根・(前、後)ガードにホコリが多量に付着していると異常音・振動・モーターの過熱の原因になります。組立てと逆の順序で分解し、清掃してください。

本体の汚れ		水かぬるま湯でうすめた中性洗剤に浸した柔らかい布でかたく絞って拭き、さらに乾いた柔らかい布で水分が残らないように拭き取ってください。
ガードのホコリ		掃除機でホコリ、ゴミを吸取って下さい。

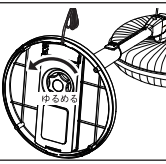
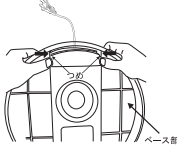
- お手入れには中性洗剤を使用してください。シンナー・アルコール・ベンジンなどは使用しないでください。破損・変質の原因になります。
- 化学雑巾を使うときは、その注意書きに従ってください。
- 危険防止のため、羽根に貼り付けてある「羽根マーク」は、はがさないでください。
- スプレーをかけないでください。(掃除用、殺虫用、整髪用など)破損・変質の原因になります。

保管

羽根を正面に向けて、組立てと逆の順序で分解してください。(正面に向かない場合は無理に戻さず、首振りさせて正面に向けてください。)

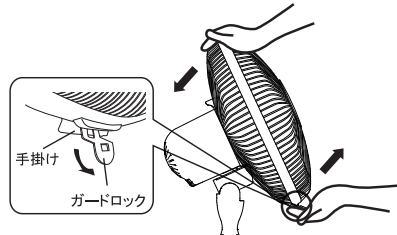
必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

ベースの外しかた

- 1 スタンド固定ナットを反時計回りに回して取り外してください。
- 2 つめを図のように両手の指を同時に中心に向かって軽く押しとベースからツメが外れます。ベース部を手前に引くとベース部が外れます。

- 〈お手入れ〉の方法に従って、お手入れしてください。
- モーター軸の汚れを取ってマシン油をうすく塗り、チューブをかぶせてください。(さびの防止)
- 包装ケースに納め、湿気の少ないところに保管してください。

前ガードの外しかた



図のようにガードロックを外し、前ガードを上から押さえ、手掛を手前に強く引きます。
※前ガード、ガードロックは、運転中に外れないように固定しております。外すときに少しかたく感じますが、そのまま強く手前に引いてください。

お 願 い

カーテンなどの障害物の周囲や不安定な場所をさけてご使用ください。

アフターサービスについて

修理・お手入れ・ご使用方法などについては、まずお買い上げの販売店へご相談下さい。

- ① この製品は保証書がついております。お買い上げの際に販売店より必ず保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- ② 保証期間はお買上げ日より1年です。保証書の記載内容によりお買い上げの販売店が修理を承ります。その他詳細は保証書をご覧ください。
- ③ 保証期間経過後の修理についてはお買い上げの販売店にご相談ください。修理をすれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。
- ④ 扇風機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ⑤ アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または当社修理サービスセンターにお問い合わせください。

※(修理部品について)

修理部品は部品共有化のため、一部仕様や外観色を変更する事があります。

仕 様

電圧 (V)	周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風速 (m/min)	風量 (m ³ /min)	質量 (kg)
100	50	40	180	40	約 3.0
	60	44	180	40	

上記のデータは強風時点の数値です。

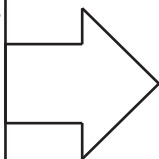
※商品の仕様は、品質向上、製品改良のため、予告なく変更することがあります。

風量	電気料金の概算目安:(首振り動作時) (1時間あたり:当社調べ)	※ 電気料金の概算目安です 電気料金は目安単価(1時間あたり27円:1kWh=1000Wh)で計算 電力会社およびご家庭の電力使用量、ご契約内容、 室温、器具の使用条件により金額は異なります。
強風	約 1 円強	

長年ご使用の扇風機はよく点検をお願いします。

★こんな症状はありませんか？

- スイッチを入れても羽根が回らない。
- 羽根が回っても回転がおそかったり不規則。
- モーター部が異常に熱い。
- 異常な音がする。
- コゲくさいにおいがする。



★異常があれば

ご使用中止！！
すぐに電源プラグを抜いて
事故防止、モーターの焼損
防止のために必ず販売店
にご相談ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。

【製造年】(本体に西暦4桁で表示してあります)



※【設計上の標準使用期間】 6年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準的な使用条件 日本工業規格 (JIS C9921-1)及び
(社)日本電機工業会自主基準HD-116-3による

環境条件	電圧	単相交流100V
	周波数	50Hz及び60Hz
	温度	30℃
	湿度	65%
	設置条件	標準設置(製品の取扱説明書による)
負荷条件		定格負荷(風速)(製品の取扱説明書による)
想定時間等	1日あたりの使用時間	8 (h/日)
	1日使用回数	5 (回/日)
	1年間の使用日数	110 (日/年)
	スイッチ操作回数	550 (回/年)
	首振運転の割合	100 (%)

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

ZEPEAL  **株式会社 電響社**

コールセンター 本社：〒556-0006 大阪市浪速区日本橋東2丁目1番3号
TEL: 0120-070-440 [受付時間] 9:00~17:00(土曜、日曜、祝日を除く)
FAX: 06-6644-4433

修理サービスセンター TEL: 075-681-2430 [受付時間] 9:00~17:00(土曜、日曜、祝日を除く)
FAX: 075-681-0886
住所: 〒601-8362 京都府京都市南区吉祥院長田町24(電響社サービスセンター)